

第2学年 総合的な学習の時間 「きららタイム」学習指導案

日時 平成24年11月16日(金) 5校時
学級 2年A組(男子13名 女子8名 計21名)
2年B組(男子13名 女子8名 計21名)
指導者 教諭 倉澤 克明、 教諭 石川 均

1 単元名 「考えよう自分の進む道Ⅰ」～奥州の職場を通して～

2 単元観

本校の総合的な学習の時間において、各学年が「胆沢に生きる」という主題のもとに、故郷である胆沢について、より深く知り・考え・調査などを行い、体験活動に取り組んでいる。

2学年の単元目標は、「奥州地区の職場見学を通じ、望ましい職業観を育て、学び方やものの考え方を身につけさせること」である。個人の課題をもたせ、グループで活動することで高め合い深める学習を行うとともに、体験活動を通じて新たな情報を収集し、課題や疑問をもたせる。グループまたは個人でのまとめや発表をさせることで自分に付いた力や不足している力に気付かせ、次の課題へつなげていく探究的な活動としたい。

総合的な学習のアンケートでは、「人はなぜ働くと思いますか」という問いかけには、無回答のものや「生きるため」「お金を稼ぐため」という回答が多く、働く意義に対する意識がほとんど無く、収入を得る以外にも仕事にはやりがいや専門性があることを理解していなかった。そこで、生活するため、収入を得るため以外にも仕事をしている人もいることを理解させた。

今回は、9月に実施された職場見学までに得た情報を整理・分析し、他者と意見を交流し、他者の考えに触れ、自分の考えと比較することにより新たな視点を学んだり、自分の考えをより深めたりすることにつなげたい。また、学年末のまとめの発表会ではグループごとの意見交流を通して、自分の考えをまとめ直す力や自分の考えをもち、相手意識をもって効果的に表現する力を育てるとともに、職業について視野を広げさせたい。

3 生徒観

1年生の総合的な学習の時間では、地域の産業である農業について学習してきた。調査活動や体験活動を通じ、学び方や考え方についても課題解決的に学習してきた。生徒アンケートでは「知りたいことの解決のために見通しをもって計画を立てることができる」や「課題を解決するために自分から進んで学習に取り組むことができる」などのポイントが低く、指導の重点としている。

そこで、生徒の積極性を高めるために生徒同士の様々な発想を認めたり、話し合い活動や発表する場を意図的に取り入れたりすることで、相手に伝える力や表現する力を身につけさせたいと考える。

4 指導観

昨年度の総合的な学習の時間でも整理・体験学習を中心に捉え、事前準備や事後発表会などの指導を一連の流れとして計画的に行い整理・分析の方法も指導してきた。その際、伝えたい内容がはっきりしないまま整理・分析を進めたため、その後の作業が滞ってしまったグループもあった。

今回の学習では、目的意識や相手に伝えたい内容を明確にしてからさまざまな情報を整理・分析させたい。自分たちのもっている情報をよりわかりやすく相手に伝えるための工夫についてはその理由も考えさせながら、その後の個人レポートに反映させていきたい。

6 指導目標

- ・ 奥州地区の職場見学を通じ、望ましい職業観を育て、学び方や物の考え方を身に付けさせる。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・ 職場見学で得た情報の整理・分析方法を、理由や根拠をもって選択したり考えたりすることができる。

(2) 本時の評価規準

育てたい資質や能力・態度	評価場面と方法	生徒の学習の姿
I 【問題解決の力】 ④ 集めた情報を整理・分析することができる。	■ グループでの話し合いで他者の考えに触れ、整理・分析の方法について自分の考えをまとめ直す場面（ワークシート）	・ グループでの話し合いで他者の考えをしっかりと聞き、理由や根拠をもってワークシートに記入している。

(3) 言語活動について

職場見学のまとめをもとに、働く人の姿についての個人レポートの作成を行うための整理・分析の方法について考える。

■ グループによる話し合いで他者の考えに触れ、整理・分析の方法をさらに吟味する。

自分が選択したり考えたりした整理・分析の方法を、全体への発表の場で理由を述べながら説明する。

(4) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点（評価■）
導入 5分	1 前時の振り返り	・前時に確認した整理・分析方法のモデルについて振り返る。	・それぞれのモデルのよさを確認する。
	2 学習課題の確認	・学習課題を示し、本時の学習内容の見通しを持つ。	・学習課題から、本時の見通しをもっているか確認する。
個人レポートのまとめ方について考えよう。			
展開 40分	3 モデルの選択	・職場見学で得た情報をもとにして、それぞれのモデルを用いた場合どのように整理・分析が行われるのかを予想して学習シートに記入する。 ・自分が使う整理・分析の方法を選択する。	・自分なりの工夫を加えることも認める。 ・どのモデルが自分の考えにそった整理・分析ができるか考え、選択した理由も述べるができるようにする。
	4 グループでの話し合い	・グループに分かれ、自分が選択した整理・分析方法について発表し、意見を出し合う。	・グループ内で受けたアドバイスをもとに、自分自身の考えをさらに吟味する。 ■他者の意見に触れ、自分の考えを整理できたか。（I-④）
	5 整理・分析方法の発表	・自分が選択した整理・分析方法について、学級全体に対して発表をする。	・選択した理由をはっきり述べるができるようにする。
終末 5分	6 本時のまとめ	・各自で設定した整理・分析方法について、考えの深まりを評価する。	・わかりやすく伝えるための整理・分析方法を設定することができたか評価する。

『本校の付けさせたい力』

I【問題解決の力】	II【自己を表現する力】	III【人間関係形成の力】	IV【自己を振り返る力】
自ら考え、集めた情報をまとめ・分析することにより、よりよく問題を解決しようとする力	自分の考えをもち、相手意識をもって効果的に表現する力	相手の意見や考えを取り入れ、より良い発想や柔軟な考えにつなげる力	他者との関わりから自分の意見をもち、次につなげる力
①日常生活や社会の中の問題に気づき、自分で取り組むべき課題を見つけることができる。 ②解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てることができる。 ③必要な情報を収集・選択することができる。 ④集めた情報を整理・分析することができる。 ⑤課題解決を目指し、見直しをもって主体的に学習を進めることができる。	①課題の解決に向けて自分の考えをもつことができる。 ②目的に応じて、わかりやすくまとめることができる。 ③わかりやすい発表を意識して、発表方法を工夫することができる。 ④話し合い活動などで自分の意見を伝えることができる。	①相手の考えを尊重して聞くことができる。 ②異なる意見や他者の考えを受け入れ、自分の考えを広めたり深めたりすることができる。 ③他の生徒と協力して活動することができる。 ④人とのつながりの大切さを理解し、よりよい人間関係をつくることできる。	①自分をよく知り、自己の伸長を図ることができる。 ②社会や身近な人のために、自分ができていることを考え行動することができる。 ③自分の将来や進路について考えることができる。 ④これまでの学習から、さらに新しい課題を見出すことができる。

2学年 単元名「考えよう自分の進む道Ⅰ」～奥州の職場を通して～											全学年共通 18h																				
目 標 奥州市での職場見学を通じて、望ましい職業観を育て、学び方やものの考え方を身に付けさせる。											・若柳の郷土芸能 (6h)																				
											・郷土を教材とした創作発表 (9h)																				
											・生き方講演会 (3h)																				
4月	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			
1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4
【課題の設定】 8h				【情報の収集】 20h 職場見学 9月26日27日											【整理・分析】 14h						【まとめ・表現】 10h						計 52h				

学習の流れ	【課題の設定】 8h	評価規準と評価方法	【情報の収集】 20h	評価規準と評価方法	【整理・分析】 14h	評価規準と評価方法	【まとめ・表現】 10h	評価規準と評価方法
	<ul style="list-style-type: none"> 単元の目標と学習の流れを理解する。 1h 職業について学習する。 1h 奥州市の職業について知っていることを整理する。 3h 学習課題を設定し、課題ごとのグループをつくる。 3h 	I-② 観察 I-② 学習シート I-①III-① 学習シート I-①II-① 観察学習シート	<ul style="list-style-type: none"> まとめ方や発表方法を学習する。 2h 職場訪問に向けて質問を考える。 2h 質問の整理をする。 2h 訪問マナーを身に付ける。 2h 奥州市の職場を見学する。 12h 	II-①③ 学習シート II-① 観察 II-②III-② 自己評価 相互評価 III-③IV-① 他者評価 I-③III-①③ 観察	<ul style="list-style-type: none"> 職場見学のまとめ作業を行う。 4h 職場見学発表会を行う。(グループ) 2h 得た情報から新しい課題を設定する。 2h 伝えたい内容の整理と分析方法を検討する。 本時(2/2) 伝えたい内容をまとめる作業を行う。 4h 	I-③II-②③ 観察 制作物の評価 III-①② 自己評価 相互評価 I-③⑤ 学習シート I-④ 観察 学習シート II-③III-③ 観察	<ul style="list-style-type: none"> わかったことや感じたことなどをまとめる。 7h 個人テーマ発表会を行う。 2h 1年間の学習を振り返り、学んだことを整理する。 1h 	II-② III-③④ 制作物の評価 II-④ IV-③ 自己評価 相互評価 IV-②④ 学習シート
ねらいと指導のポイント	奥州市の職業について学習させることにより、将来自分の就きたい職業に興味をもてる。また、職場見学に意欲をもつことができる。 ・単元の見直しをもつ。 ・働くことについて理解する。 ・将来就きたい職業へのあこがれを大切にする。 ・個人の職に対するあこがれから課題を設定する。 ・グループの人数は3～4人を基本とする。		実際の職場に訪問することを意識させることにより、現実的な内容を考えることができる。 ・発表を意識した表やグラフ等の作り方やパソコンでの表現の方法を学習する。 ・質問のポイントをおさえインタビュー活動の準備をする。 ・あいさつやマナーの大切さや、具体的な場面を想定した対話の仕方などを指導する。		職場見学発表会を行うことにより、自分たちの伝えたい内容が整理できる。また、根拠をもって整理・分析できる。 ・まとめの観点を与えグループごとにまとめさせる。様式はグループごとでよい。 ・発表を聞く側にも評価の観点を与え、相互評価させる。 ・調査活動により新しく生まれた課題を大切に、次の課題へつなげる。 ・伝えたい内容に沿って、根拠をもった分析方法を考える。		まとめ作業を通じて、目的に応じたまとめができる。発表会では他の意見を聞くことにより新しい課題を発見できる。 ・わかったこと感じたことのまとめ方は「個人レポート」と「グループのまとめポスター」とする。 ・他のグループの発表から学び合う。 ・これまでの学習から、さらに探究すべき課題をとらえる。	